東京都美術館 × 東京藝術大学 「とびらプロジェクト」フォーラム

【 アート・コミュニケータ奮闘記 ー うまくいったり、いかなかったり 】

平成 30 年 2 月 3 日（土）

第一部

・とびらプロジェクトとは？ … 大谷郁（東京藝術大学特任助手 とびらプロジェクト・コーディネータ）

・アート・コミュニケータが語る自分のはたらき
聞き手：西村佳哲、稲庭彩和子

・パネルディスカッション … 日比野克彦、西村佳哲、森司、稲庭彩和子、伊藤達矢
「うまくいったり、いかなかったり」を支える人のつながりとは？

会場／東京都美術館 講堂　時間／13:00〜15:30　開場:12:30
定員／220名（参加費無料、事前申込制〔先着順〕※定員になり次第締め切ります。）

「とびらプロジェクト」は東京都美術館と東京藝術大学、そしてとびラー（アート・コミュニケータ）が協働して行っているソーシャルデザインプロジェクトです。とびラーは 3 年間の任期の中で美術館を拠点に、学芸員や大学の教員らとともに活動しています。世代や国籍、障害の有無などを問わず、多様な人々に対して、対話を通した作品との出会いの場を開き、また、自らデザインするワークショップなどを通して、人と人、人とアートをつなぐ活動を行なってきました。そして「とびらプロジェクト」は来年度で 7 年目を迎えます。3 年間の任期を満了し「とびらプロジェクト」を巣立っていったアート･コミュニケータたちも 100名を超えるまでになりました。そこで、今回の「とびらプロジェクト」フォーラムでは、「アート・コミュニケータ奮闘記」と題して、任期満了後のアート・コミュニケータたちが、「とびらプロジェクト」での経験を活かして、社会の中で独自に行なっている様々な活動の事例に焦点を当てます。キーワードは「アート」「多様性」「社会的包摂」「コミュニティ」「文化施設」「チャレンジ」「協働」など。美術館はもちろん、高齢者施設や児童養護施設など様々な場所で、多様な人々をアートを介してつなぐアート・コミュニケータのリアルな声を聞きながら、未来の可能性について、任期満了後のアート・コミュニケータたちと「とびらプロジェクト」の講師陣が共に語ります。

日比野克彦
東京藝術大学美術学部長
先端芸術表現科教授
とびらプロジェクト代表教員

西村佳哲
働き方研究家
リビングワールド代表
とびらプロジェクト･アドバイザー

森 司
アーツカウンシル東京
事業推進室 事業調整課長
とびらプロジェクト･アドバイザー

稲庭彩和子
東京都美術館学芸員
アート･コミュニケーション係長
とびらプロジェクト･マネージャ

伊藤達矢
東京藝術大学特任准教授
とびらプロジェクト･マネージャ

第二部

オープンスペース・カフェ

会場／東京都美術館アートスタディルーム（交流棟 2 階）　時間／15:45〜17:15

「とびらプロジェクト」の活動拠点を公開し、参加者同士がフランクに対話できるカフェを開きます。また、パネリストやとびラーが皆様からの率直な質問にお答えし、とびラーの普段の活動が分かる資料等をご覧いただくことができます。お気軽にお越しください。

参加申込方法

「とびらプロジェクト」ウェブサイト内の申込フォームからお申し込みください。

とびらプロジェクト 検索　http://tobira-project.info

主催 / 東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学　企画・運営 / 東京都美術館 × 東京藝術大学「とびらプロジェクト」

2017 © Tokyo Metropolitan Art Museum　cover design : sesensitka

メール q-tobira@tobira-project.info　問合せ Tel: 03-3823-6921（東京都美術館 アート･コミュニケーション係）

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM　東京藝術大学

「とびらプロジェクト」とは、
東京都美術館と東京藝術大学が連携して
行っているソーシャルデザインプロジェクトです。

東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト

とびらプロジェクトとは？

人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、美術館に集まる多種多様な人々とのコミュニケーションを大切にし、そこから創出される新しい価値を社会に届けることで、アートを介したコミュニティを育んでいきます。今年も活動の主体となるアート・コミュニケータ（とびラー）を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケータ（とびラー）として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。

とびらプロジェクトはアートを通して人々の中に新しい価値を育む活動を目指しています。

募集人数 40名

例えばこんな活動

- 人々のつながりを大切にした新しい対話の場（コミュニティ）づくり
- 本物の作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム
- 障害のある方など美術館に来館しづらい方々を対象とした特別鑑賞会の開催
- 建築家・前川國男が設計した東京都美術館の建築を活用したツアー
- 美術館を活用して、自ら学び考えることを育む鑑賞授業の実施（学校との連携）
- 上野公園に広がる9つの文化施設をつなぐ活動の推進（「Museum Start あいうえの」との連動）

応募条件

❶ 18歳以上の方（平成30年4月1日現在、高校生を除く）で、日本語で日常会話ができる方
❷ 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
❸ 東京都美術館のミッション（使命）と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
❹ 平成30年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能な方
❺ 平成30年7月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
❻ パソコンでのEメール送受信が可能な方

東京都美術館のミッション

東京都美術館は、「アートへの入口」となることを目指します。展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある人も何のためらいもなく来館できる美術館となります。訪れた人が、新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」に出会える場とします。これらを実現することで、東京都美術館が人びとの「心のゆたかさの拠り所」となるようにします。

活動条件

❶ アート･コミュニケータの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、講座及び随時開催される研修に無料で参加できます。
❷ アート･コミュニケータの登録期間は１年間とします。次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長３年間とします。
❸ とびらプロジェクトのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。

東京藝術大学からのメッセージ

アートを介したコミュニティづくりは、作品を創造する人、そしてそれを享受する人を含め、人びとのクリエイティブな力が活きる社会をつくることにつながります。東京藝術大学は、芸術の基本である「もの」としての作品に加えて、「こと」としての芸術に取組み、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献します。

活動場所

東京都美術館および、東京藝術大学など。

応募方法

❶ 以下の書類を郵送してください。

☑ 応募用紙：＜アート･コミュニケータ応募用紙＞に必要事項を記入してください。
※「とびらプロジェクト」ウェブサイトよりダウンロードしてください。
http://tobira-project.info

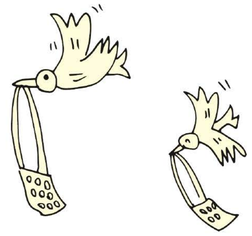
☑ 課題：A4用紙1枚（記載様式自由）

☑ 返信用封筒1通 定形封筒（長形3号）に82円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

☑ 郵送の際には、封筒の表面に「アート･コミュニケータ応募書類在中」と朱記してください。

❷ 応募受付期間：平成30年1月22日（月）～ 2月13日（火） 消印有効

書類郵送先



東京都美術館 アート･コミュニケータ募集担当宛
〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。
※応募者の個人情報は、アート･コミュニケータの選考に関すること以外には一切使用しません。

課題

1次選考

アート･コミュニケータに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べてください。美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。
（A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。）

とびらプロジェクトの活動についてはウェブサイトをご確認ください。→ とびらプロジェクト 検索

関連ウェブサイト「Museum Start あいうえの」 → あいうえの 検索

＊2次選考の面接はアート･コミュニケータの活動をウェブサイト等でご覧いただいていることを前提に行います。

日程

応募受付	応募受付期間：平成30年1月22日（月）～2月13日（火）消印有効
1次選考	書類審査：選考結果は平成30年2月23日（金）発送で応募者全員にお知らせします。
2次選考	面接審査：平成30年3月9日（金）～11日（日）のいずれか1日。 選考結果は平成30年3月20日（火）発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

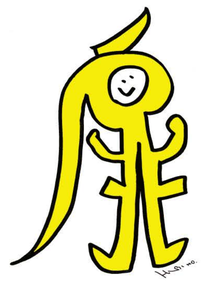
講座内容

❶ 基礎講座

日程： 平成30年4月14日、28日、5月12日、26日、6月9日、23日（すべて土曜日）
場所： 主に東京都美術館 アートスタディルーム（交流棟2階）
内容： 美術館での活動についてや対話の場づくり、作品を通したコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。

❷ 実践講座

平成30年7月から実践講座を開講します。詳細は受講者に対して別途ご連絡します。

主な講師

日比野克彦（東京藝術大学美術学部長 先端芸術表現科 教授／とびらプロジェクト代表教員）
西村佳哲（働き方研究家／リビングワールド代表／とびらプロジェクト･アドバイザー）
森司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長／とびらプロジェクト･アドバイザー）
稲庭彩和子（東京都美術館 学芸員 アート･コミュニケーション係長／とびらプロジェクト･マネージャ）
伊藤達矢（東京藝術大学美術学部 特任准教授／とびらプロジェクト･マネージャ）